

各委員の意見概要

基本戦略1 “アジアの日常化”の推進～国際化・アジアとの交流推進

基本方針① 市民レベルの国際化の推進

- ・先般、南海トラフ地震臨時情報が発表されたり、台風10号が接近したりと、以前にも増して自然災害への対応が求められている。私たち日本人でも対応に迷うことが多いかと思う。在留外国人が増えている中、避難所への誘導、避難所での過ごし方等の情報発信について、どのようにされているのか。
- ・市立病院での電話通訳サービスや、各種書類の多言語化はぜひ継続してほしい。R5年度の決算額が0円なのは、利用者がいなかったということか。
- ・小・中学校に在籍する日本語指導の必要な外国人児童生徒に対する日本語支援を継続していただくとともに、外国人児童生徒を担当していない教員にも研修などを行う必要がある。
- ・市民相談センターにおける多言語通訳サービスを利用した相談内容について（個人情報特定されない形で）各所に共有し、取組の改善に結びつけられればよいと思う。

基本方針② アジアとの交流推進

- ・アジア太平洋都市サミット開催事業の鹿児島市における経済効果について、市の見解を教えていただきたい。
- ・鹿児島県ベトナム人会は、鹿児島市の事業に参加する機会が少ない。今後、国際交流関係事業があれば、是非声をかけていただきたい。

基本方針③ アジアとの交流基盤の整備促進

(意見なし)

基本戦略2 アジアの活力を鹿児島へ～アジアからの誘致促進

基本方針① 戦略的な「KAGOSHIMA CITY」プロモーションの展開

(意見なし)

基本方針② アジアからの観光客誘致による“稼ぐ観光”の推進

- ・市電・市バスでのクレジットカードによるタッチ決済は訪日観光客にとって、とても便利なものだと思う。

基本方針③ アジアからの人材等の活用推進

- ・留学生人材確保推進事業について、留学生を対象とした職場見学会が行われているが、その後、留学生が就職活動を行うための支援も必要だと考える。福岡外国人雇用サービスセンターが実施しているようなサービスを、鹿児島でも提供いただけるとありがたい。

基本戦略3 鹿児島からアジアへ～地域産業の海外展開の促進

基本方針① 本市の特性を生かしたアジアへの販路拡大の促進

- ・(他地域では)北薩4市の輸出協議会による海外バイヤー招聘事業、南薩4市による海外・国内輸出バイヤー招聘事業、大隅地域での輸出講座事業があるが、鹿児島市としても、市がまとまった事業形成による海外展開推進ができるとより良いのではと感じている。
- ・魚類市場輸出拠点構築事業について、当事業内の水産事業者と話をしてみても、当事業の方向性(目標)が見えないとの意見もあり、鹿児島市水産物の輸出拡大戦略の具体が見えない。

基本方針② 市内事業者のアジアへの海外展開の支援

- ・輸出チャレンジ支援事業について、為替動向(円安)や、海外の物価上昇により、事業者の海外展示会出展の負担が増加しており、ニーズはあると思われる。補助制度の利便性が高まれば、利用事業者は増えると思う。
- ・地域商社に対する補助金事業について、県の事業と重複する事業内容で、県の事業の方が補助率等の条件が良いため、当事業に優位性を見出すことが難しい。(商社からの申請状況も気になる。)
- ・来年度に向けて、より具体的な海外展開戦略を練ることが重要かと思う。

その他

- ・当会議は、台風が来たら延期ではなく、書面で開催するなど、他の市町村の同様の会合に比べて、あまりにも形式的になっていると感じており、「イノベーション戦略会議(革新的な戦略会議)」とは、程遠い会議方式になっているのではと感じている。
- ・新規事業を実施するためには、スクラップ&ビルドが必要と思うが、終了となった事業について理由を知りたいと思う。(当初から5年度までの事業だったのか、所期の目的を達成したのか、より時宜を得た他の事業へ転換したのか等)
- ・ネクスト”アジア・鹿児島”イノベーション戦略の最大の目標として、「イノベーションの創出」が掲げられているが、市の方で「イノベーションの創出」の具体的な理想像、イメージがあるのか。
ことばはとてもしっかりいいが、どんなイメージなのか分からないため、一般市民が分かるような例を提示していただけたらありがたい。